

( 1 ) 実施機関名：

( 独 ) 防災科学技術研究所

( 2 ) 研究課題(または観測項目)名：

火山観測網整備

( 3 ) 最も関連の深い建議の項目：

1. 地震・火山現象予測のための観測研究の推進

( 1 ) 地震・火山現象のモニタリングシステムの高度化

イ. 地震発生・火山噴火の可能性の高い地域

( 4 ) その他関連する建議の項目：

1. 地震・火山現象予測のための観測研究の推進

( 1 ) 地震・火山現象のモニタリングシステムの高度化

ア. 日本列島域

4. 計画推進のための体制の強化

( 1 ) 計画を推進する体制の整備

( 5 ) 本課題の 5 か年の到達目標：

「今後の大学等における火山観測研究の当面の進め方について」(平成 20 年 12 月 15 日)により重点的に火山観測網を整備することになった火山に、基盤的な火山観測施設を整備し、火山研究に有効な観測データを収集する。これらの観測データは関係機関に流通させ、火山噴火予知研究や火山の監視に活用できるシステムを構築する。また、この観測網により取得されたデータにより、対象火山の火山活動を把握する。

( 6 ) 本課題の 5 か年計画の概要：

火山観測網を整備する対象火山に孔井式地震計・傾斜計、広帯域地震計、GPS 観測装置を備えた観測施設を整備し、データをつくばの防災科学技術研究所に伝送し、保存するとともに関係機関に流通し、関係機関で活用できるシステムを構築する。

平成 21 年度は、有珠山、岩手山、浅間山、阿蘇山、霧島山で観測網整備に着手し、以後、順次対象火山を広げるとともに、観測点数を増強する。またデータ保存、流通、公開のためのシステムを順次、整備していく。

( 7 ) 平成 21 年度成果の概要：

基盤的な火山観測施設の整備のため、有珠山(1カ所)、岩手山(1カ所)、浅間山(2カ所)、阿蘇山(2カ所)、霧島山(2カ所)に観測地点を選定し、観測施設整備工事に着工した。これらの観測施設では、深度 200m の観測井の孔底に孔井式地震傾斜観測装置、また地表付近に広帯域地震計、GPS 観測装置が設置され、またデータをつくばに伝送するためのテレメータが設置された(一部の観測施設では、完成が 22 年度の予定)。

( 8 ) 平成 21 年度の成果に関連の深いもので、平成 21 年度に公表された主な成果物(論文・報告書等)：

無

( 9 ) 平成 22 年度実施計画の概要 :

平成 21 年度に着手した有珠山 ( 1 カ所 ) 、岩手山 ( 1 カ所 ) 、浅間山 ( 2 カ所 ) 、阿蘇山 ( 2 カ所 ) 、霧島山 ( 2 カ所 ) を対象にした火山観測施設の整備を完成させ、観測データを防災科学技術研究所において保存し、さらに関係機関への流通を開始する。

( 10 ) 実施機関の参加者氏名または部署等名 :

防災科学技術研究所 火山防災研究部、地震研究部

他機関との共同研究の有無 : 有

東京大学地震研究所、東京工業大学、京都大学、北海道大学、東北大学、九州大学など、対象とする火山で連続観測を実施している機関の協力を得て実施。

( 11 ) 公開時にホームページに掲載する問い合わせ先

部署等名 : 防災科学技術研究所企画部広報普及課

電話 : 029-851-1611

e-mail : [toiawase@bosai.go.jp](mailto:toiawase@bosai.go.jp)